

司法省日誌

五

明治七年二月

日本史籍協會編

司法省日誌
明治初期各省日誌集成

東京大学出版会

五

明治七年二月

司し法ほう省しやう日にっ誌し五

明治初期各省日誌集成 第一期

昭和五十九年一月三十日覆刻

編者 日本史籍協会

代表者 森谷秀亮

東京都三鷹市大沢二丁目十五番十六号

発行者 財団法人 東京大学出版会

代表者 江村 稔

一一三 東京都文京区本郷七丁目三番一号
振替東京六一五九九六四
電話(八一)八八一四

印刷・株式会社 平文社

本文用紙・王子製紙株式会社

クロス・望月株式会社

製函・株式会社 光陽紙器製作所

製本・矢嶋製本株式会社

39051

ISBN4-13-093905-X

司法部日誌

五

目次

明治七年

第二十一號 (二月二日)
第二十二號 (二月二日)
第二十三號 (二月二日)
第二十四號 (二月三日)
第二十五號 (二月三日)
第二十六號 (二月三日)
第二十七號 (二月五日)
第二十八號 (二月七日)
第二十九號 (二月七日)
第三十號 (二月九日)
第三十一號 (二月十日)
第三十二號 (二月十二日)
第三十三號 (二月十二日)
第三十四號 (二月十三日)
第三十五號 (二月十四日)
第三十六號 (二月十五日)
第三十七號 (二月十七日)
第三十八號 (二月十七日)

一
二
四
六
八
一〇
一二
一四
一六
一八
二〇
二二
二四
二六
二八
三〇
三二
三四

第三十九號 (二月十九日)
第四十號 (二月二十二日)
第四十一號 (二月二十二日)
第四十二號 (二月二十四日)
第四十三號 (二月二十四日)
第四十四號 (二月二十五日)
第四十五號 (二月二十七日)
第四十六號 (二月二十八日)
第四十七號 (二月二十八日)

三六一
三八一
四〇一
四二一
四四一
四六一
四八一
五〇一
五二一

司法省日誌明治七年第二十一號

○二月二日

依願免本官

權大檢部 吉 國 祐 恒

〔筑摩縣伺〕
六年十月二十七日

信濃國筑摩郡高出村農

藤 森 運 平

右罪案之略ノ通野村御子柴平十郎借金返辨約定證書差入

其證券ヲ盜取偽テ相對示談行届返辨濟ニテ證書貰受候

趣ヲ以テ村吏へ申出候段届出候付雙方取糺中疑敷相聞

糺問中郷宿へ責付致置候然ル處番人ノ透ヲ窺ヒ逃亡ナ

シ追テ立戻リ全右證券盜取候旨自首致ス上ハ逃亡罪ヲ

免シ盜罪ヲ科シ可該カ或ハ上告不實ヲ以論ス可キヤ相
伺候以上

指令

賊盜律竊盜條 竊盜十圓以上ヲ以テ論シ

懲役七十日〔贓十圓餘〕

藤 森 運 平

責付内逃走スト雖モ投歸自首スルニ依リ止タ本罪
ヲ科シ逃罪ヲ免ス且告上不實ト雖モ推問中ノ事ナ
ルヲ以テ論セス

〔高知縣伺〕

六年十二月廿四日

舊藩政中犯罪逃亡ノ者當今歸縣入籍願出候者有之候ハ
、逃亡律二年以内復歸セサル者ニ依テ科シ舊罪ハ事蹟

ヲ不擇無罪ト見做シ取扱可申哉相伺候也

指令

罪ヲ帶ヒ逃亡シ復籍願出ル者ハ其事故ヲ鞫シ二罪俱發
從重論律ニ依テ處斷スヘシ 但舊罪ノ儀ハ赦及ヒ舊惡
減免例ニ照シテ處スヘシ

〔長崎縣伺〕七年一月六日

明治六年十二月二日付ヲ以テ相伺候三箇條ノ内第三條
戸長ノ私宅ニ強訴スル者首ハ違制重ニ問ヒ懲役九十日
ト御指令相成候處違制ノ重ハ懲役百日ト被存候右更ニ
相伺候也

指令

伺ノ通

〔新潟縣伺〕

六年十二月十九日

村社ノ境内ニ於テ木葉枯枝ヲ燃シ暖ヲ取り誤テ火ヲ失シ境内ノ樹木ヲ燒ク者如何處斷スヘキ哉御伺申候也

指令

改定律例第二百七十六條ニ照シ處斷スヘシ

〔同縣伺〕

同日

給沒贓物律ニ強竊盜枉法不枉法坐贓等ノ贓ヲ以テ罪ニ入ルニ正贓現在スル者ハ官物ハ官ニ還シ私物ハ主ニ還スト有之若シ本犯取調中病死スルモ仍ホ追究シテ本法ヲ盡スヘキ哉

詐欺取財親屬相盜雇人盜家長財物ノ贓ト雖モ轉賣スル者ハ轉償セシメ資力アル者ハ追徴スル等強竊盜贓ノ處分ト異ナルヲ無キ哉
棄毀器物ノ賠償セシムヘキ者本犯身死スレハ追償セサル哉御伺申候也

指令

第一條 正贓現在スレハ伺ノ通

第二三條 伺ノ通

○

青森縣ヨリ典事廢官ニ付伺
月六年十一月廿六日
明治六年第四百三十四號御布告ノ通心得可シト指令アリ

〔筑摩縣伺〕七年一月十五日

凡逃亡シテ二年以外復歸シ及ヒ自首スル者ハ首免ヲ聽
 サスト雖モ平民ハ贖罪ニ處スト云ヘリ事婦女ニ係レハ
 其婦女犯罪ハ不孝姦盜人命放火ヲ除クノ外其餘ノ罪ハ
 収贖スヘキ法例アレハ収贖ニ處スル論ヲ待サルコニテ
 男子ノ實決モ婦女ニ於ケル収贖ノ寛典アリ今逃亡ノ罪
 ハ男子ノ實決スヘキモ贖罪ニ處スルハ復歸自首スル所
 以ナルヘキヲ婦女ハ仍ホ復歸自首スルモ常律ノ収贖ニ
 テハ稍々苛嚴ニ涉リ彼此ノ權衡不平ニモ相考ヘ執法上
 如何ニ被存候間相伺候也

指令

婦人逃亡シテ二年以外復歸シ及ヒ自首スル者ハ呵責ニ
處ス

○

青森縣ヨリ七年一月士族賭博犯罪ノ者貼斷ノ伺ニ本省日誌
七年第十二號和歌山縣伺ト同指令アリ

〔京都裁判所伺〕六年十月十八日

甲州金及加賀判土佐判等ノ如キ其他各種ノ金銀御改正
新貨幣品位量圖表ニ記載ナキモノヲ偽造シ又ハ賣捌キ
質入等致ス者アリ右ノ類ハ海内普ク通用ノ品ニ無之ニ
付寶貨偽造ヲ以テ論シ難カラシカ因テ金銀ノ器物ヲ偽
造スルモノト見做シ各其所得ノ姦利ヲ贓ニ計ヘ竊盜ニ

準シテ論シ可然哉

同上正甲州金ト偽リ賣捌ントシテ得サルヨリ偽金ノ旨
申明シ又ハ潰金等トシテ低價ニ賣捌モノハ不應爲輕ニ
擬シ可然哉奉伺候也

指令

第一條 伺ノ通

第二條 伺ノ通 但シ潰金等トシテ低價ニ賣却スル者
情狀ニ依テハ概シテ論ス可ラス口書ヲ以テ伺出ヘシ

〔筑摩縣伺〕
七年一月
十二日

同僚ノ官吏公罪ヲ犯シ文案ニ連署シテ差錯ヲ生スルハ
罪其所由ヲ首トナシ遞減法ニ照依シ擬定スルニ縱令ハ

主典一名起案シテ自餘ノ主典之ヲ點檢シ駁正改貼スヘ
キアルヲ點檢ニ失シ准行スル如キ又罪ナカルヘカラス
ト雖モ其差錯ハ一名ニ係レハ自餘ノ主典ハ連坐セス止
タ起案ノ一名ヲ所由ノ首トナシ遞減法ヲ以テ科斷シ可
然哉相伺候也

指令

伺ノ通

〔山梨裁判所伺〕
六月二十日

甲斐國巨摩郡小笠原村農

加茂米作

右罪案之略ノ通ニ付雜犯律不應爲輕キニ問シ處斷致シ可

然哉此段奉伺候也

指令

人ノ托ヲ受テ物ヲ典シ其金額ノ内ヲ費用シ未タ發覺セ
サル時竊カニ財主ヘ償還スト雖モ心術ノ正シカラサル
ヲ以テ 名例律五刑條例ニ依リ

呵責

加 茂 米 作

〔愛媛縣伺〕六年五月二十五日

改正律雇人盜家長財物條附例凡旅店貸藏及ヒ雇工云々
ハ管守者ト罪同雜犯律費用受寄財產條凡他人ヨリ財物
畜產ノ寄托ヲ受ケ云々ハ坐贓ヲ以テ論シ一等ヲ減スト
夫レ同ク寄托ナリ旅店雇工脚夫車丁等ハ竊盜ニ二等重

ク凡人ナレハ五等輕シ輕重ノ間頗ル平等ナラサルカ如シ如何

名例律稱奴婢雇人條凡官吏並ニ華士族ノ家ニ云々ハ奴婢ト稱シ卒庶人ノ家ニ云々ハ雇人ト稱シ云々諸律ノ內雇人奴婢自ラ差等之アリ候所獨リ改正律雇人盜家長財物條ノミ奴婢雇人相混シテ諸律ト同シカラサル様相見ヘ候如何

無鑑札ニテ酒造其外牛馬賣買等致シ候者ハ待罪書ニヨリ斷決シ別ニ口書ヲ作ルニ不及候哉將タ罰文ハ幾十號御布告ニ依リ何ノ御規則ニヨリ云々ト相認メ可然哉
元石鐵神山縣伺ノ御指令ニヨレハ未決已決ヲ論セス監

獄ニアル者罪囚ノ逃亡スルヲ首報シ由テ逃亡ヲ得サラ
シムル者ハ一等ヲ減スルノ御規則ト相見ヘ候輕囚能ク
重囚ノ逃亡ヲ報スルハ一等ノ減相當ニ之アルヘク候ヘ
共死罪ノ囚流徒ノ囚等笞杖罪ノモノ、逃脫ヲ報スルヲ
以テ減等相成テハ寛典ニ過キ候様相覺候如何

強盜律盜ニヨリテ姦スルモノハ成否ヲ論セス皆絞ト之
アル所強姦ニヨリテ盜スルモノ盜罪輕キハ強姦ニヨリ
論シ流三等ニ處決シテ可然哉

竊盜再犯且脫獄スルモノ贓金貳百九十九圓餘迄ハ流三
等ニ處スヘキ哉

五等親圖婦人ノ嫁セシモノ人ノ養子トナルモノ其本生

父母親屬ニ於ル其等親如何

未タ其家ニ入籍セスト雖モ内實人ノ妾トナルモノ姦罪ヲ犯ストキハ姦夫姦婦各懲役一百日ニ處ス可キ哉

免許ヲ得スシテ娼妓ヲナスモノ假令甲乙二人アリ甲ハ貧窮ノ餘淫ヲ賣リ財ヲ貪ル乙ハ其情金ヲ獲ルニアラスト雖モ其平素淫蕩甲ニ過ルモノアリ其處置如何

茲ニ盜四人アリ甲乙同ク人家ニ忍入衣類五六十品ヲ盜ム夜中甲衣類二十枚ヲ配受シテ之ヲ金二十九圓ニ賣ル其事主分明ナラスシテ乙未タ捕縛ニ就サルヲ以テ其贓ノ全數ヲ知ルニ由ナケレハ二十兩以上ノ罪杖八十ニ處セサルヘカラス丙丁衣類四十品ヲ盜ミ二人同シク縛ニ